

北海道における良好な景観形成と
地域の豊かさの創出

第23回 寒地土木研究所 講演会

平成21年11月27日

(独)土木研究所寒地土木研究所 地域景観ユニット 松田 泰明

CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■本日のポイント

- ・良好な景観形成の意義
- ・変わる地域構造と景観／観光の重要性（地域の豊かさ創出）
- ・景観とは？ 景観についての誤解？
- ・北海道の景観の特徴や道路景観の課題とその方策など
- ・その他



・これから地域が豊かになるには？ のヒントになれば…

CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

良好な景観形成の意義

CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■本質的なものとしての景観の意義

●人は美しさを求める（美の追求は豊かさの追求）

人は誰しも、美しさへの欲求を持っている。
人は美しいものを発見したり、触れたり、所有したり、見せることで、喜びを感じ人生の豊かさを享受する。
また、人は美に集まる。



●人は快適な空間を求める（豊かさの追求）

美しさは、空間の快適性に最も大きな影響を与える要素の一つ

●古来より美観は必須の条件（社会資本の基本条件）

美しさ（景観性）は、用（機能性）、強（安全性）
と共に本来、社会資本整備に不可欠な要素である。
(ギリシャやローマの建造物やまちづくり、
ローマ道など)



CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■北海道でも古くから景観は具備する条件

旭川市 旭橋（1932年）

CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■北海道でも古くから景観は具備する条件

R230定山渓国道 薄別回廊（1960年代）

稚内北防波堤ドーム（1936年（1980年改修））

小樽市奥沢水池地（1914年（大正3年））

函館市笹流ダム（1923年（1985年改修））

■もう一つ、本質的なものとしての景観の意義

6

- 情報の80%は目から（外界認知はまず視覚から）

我々は、ある街が良いかどうかは、目からの情報で判断している。景観に配慮しそれを整えることは、地域にとってきわめて重要な仕事である。

- 社会資本は公共空間の中で見られる対象

したがって「景観検討は不可欠」

他にもあるが・・・

 <http://www.ceri.go.jp>

■良好な景観への社会的ニーズの高まり

7

- 国土交通省：「美しい国づくり政策大綱」（美しさの内部目的化）
「行政の方向を美しい国づくりに向けて大きく舵を切る」と宣言
これまでの国土整備における人工景観の貧困さを反省（03年7月）

全国的：景観線三法（05年6月全面施行） 09年「鞆の浦の景観訴訟」
日本風景街道（05年12月）
観光立国推進基本法（07年1月）（観光に貢献する景観形成の義務）
観光庁の設置（08年10月）（国際観光の重要性の高まり）

北海道：北海道の美しい国づくり基本計画（02年12月）
景観を求めて多くの観光客が来道
シーニックバイウェイ本格展開、観光の競争力強化
新たな北海道総合開発計画の戦略目標でも
(持続可能な美しい北海道の実現、国際競争力の高い魅力ある観光地づくり)

国土交通省所管公共事業における景観検討の基本方針（07年7月）
(通称：景観アセスメント)

道路事業では、すべての事業において計画設計から維持管理段階まで一貫して、
景観検討（景観アセスメント）を行うこととされた（08年7月）

■良好な景観への社会的ニーズの高まり

8

「鞆の浦」の景観訴訟で
日本初の事業差し止め



 <http://www.ceri.go.jp>

■景観の価値と効果（美しい景観と地域ブランド）

9




●美瑛町とジャガイモ
美しい景観が「丘のまち」としての知名度向上や町のイメージを高め、農産物の地域ブランド化につながっている

 <http://www.ceri.go.jp>

■景観の価値

10

景観の価値

- 利用価値
 - 直接的利用価値
観光客や交遊人口增加等に伴う消費支出、地域産業の生産誘発などの経済効果
 - 間接的利用価値
地域アメニティの向上、都市価値の増大等による地価や不動産価値の増加
- オプション価値
景観の地域資源として何らかの利用価値が発生するという認識
- 存在価値
 - 精神的価値
 - 社会的価値
 - 歴史的価値
 - 教育的価値
- 遺贈価値
美しい景観を将来世代のために残すこと
で得られる価値

※参考文献 文化経済学入門 デビットスロスビー

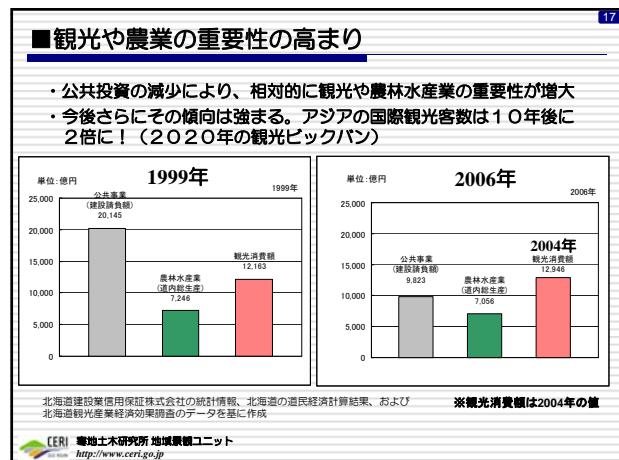
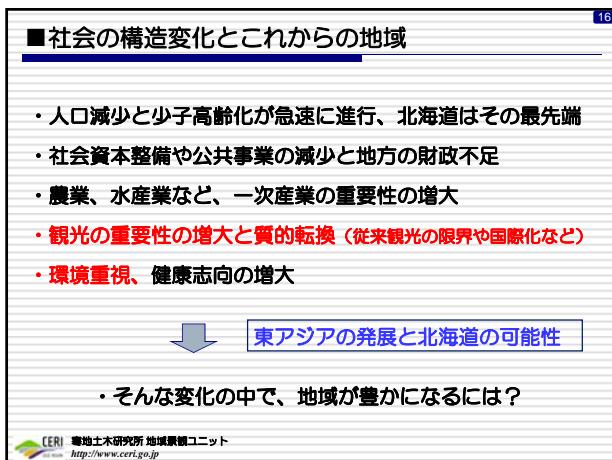
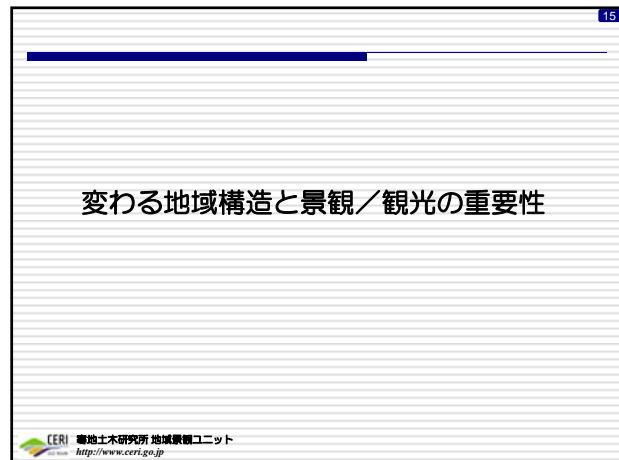
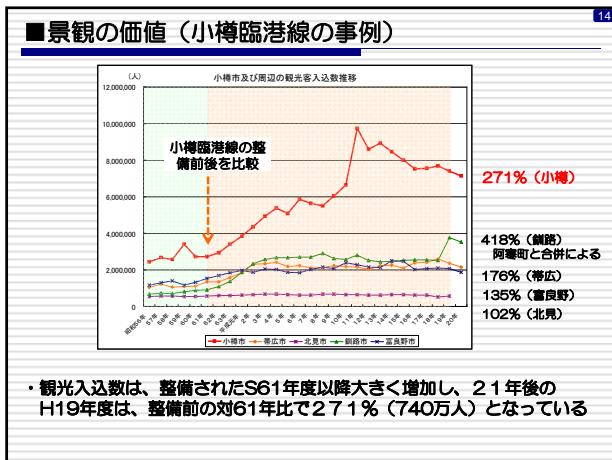
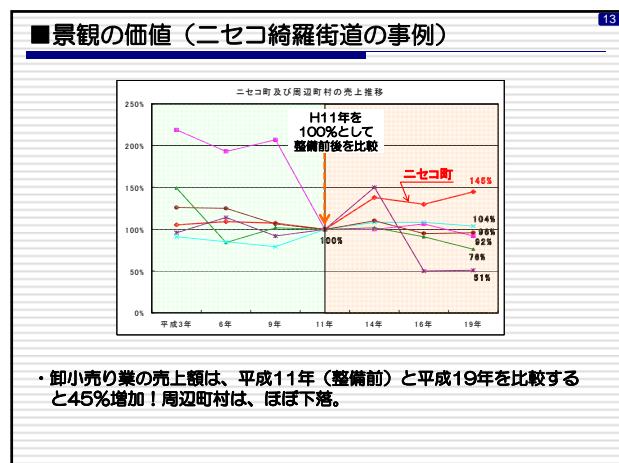
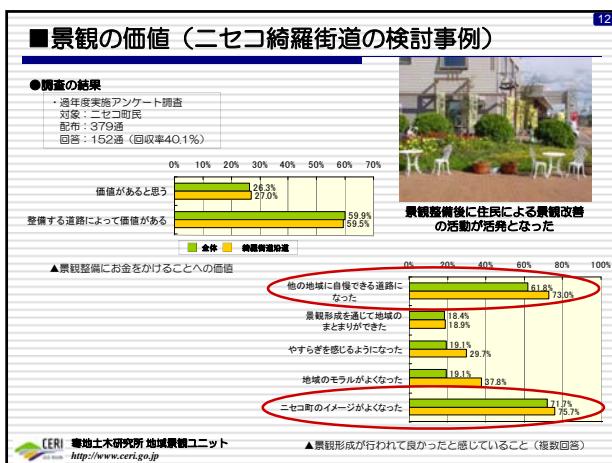
 <http://www.ceri.go.jp>

■景観の価値（ニセコ綺羅街道の検討事例）

11




 <http://www.ceri.go.jp>



■伸びるレンタカー観光と道路景観の重要性

▶ 来道観光客数が伸びていないが、レンタカー観光は毎年増加！

▶ 自動車観光は、観光全体の7割（全国）。北海道はさらに高い比率

▶ レンタカー利用者の観光目的は自然景観や沿道景観

▲千歳空港のレンタカー貸出台数と北海道の観光入込数

▲千歳空港周辺の外国人レンタカー貸出台数

資料出典：北海道観光局（北海道観光局）
北海道観光局（北海道観光局）

【CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット】
<http://www.ceri.go.jp>

■北海道の国際観光に貢献する道路景観

・シンガポールからのレンタカー観光客 ↑

・関係機関が発行する
外国人向けドライブガイド →

【CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット】
<http://www.ceri.go.jp>

■沿道景観は観光の満足度に大きく影響

道路から
の景観

道外観光客へのアンケート結果

自動車観光での満足度に影響する項目は、「道路からの景観」が最高

▲自動車観光全体の満足度に影響するツーリング環境の項目（道外客）

【CERI 地域土木研究所】

▲自動車観光客へのアンケート

ドライブが「とても満足」と評価した人のうち、道路沿線の景観を「とても満足」と評価した方は、82%と景観と旅行満足度の関係が最も強い

▲ドライブが「とても満足」の人の評価（外国人観光客）

【CERI 地域土木研究所】

■道路景観の重要性と責務

景観の基本的事項

特に、交通路である道路からの見え方が、地域の印象に大きく影響する。
そのため、“道路は地域を眺める窓”といわれる。

「道路」の特徴：視対象だけでなく、最も重要な視点場でもある

【CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット】
<http://www.ceri.go.jp>

景観とは？ 景観の誤解？

・景観はセンスではなく、知識で理解できる。
・景観は、装飾的なものや化粧ではない。
・快／不快は主観だが、美は客観／必然／社会的である。
・しかし、景観の価値は単なる美醜ではない。
・良い景観とは、人間にとって有用なこと、好ましいこと。

【CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット】
<http://www.ceri.go.jp>

■景観とは何か？

景観とは、ある「対象」を、人間が「見る」ことによって成立する

その対象は、建物や山、川、畑、樹木、地形、人間など、群としての全体の眺め。

「景観とは人間をとりまく環境のながめにほかならない」
(中村良夫 氏：景観原論)

【CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット】
<http://www.ceri.go.jp>

景観は環境の総合指標とも言われている

■景観の善し悪しとは？ 景観はセンスではない！

24

- ・人は見たいものを見る（等しく見てはいない）
- ・良い景観とは、見たいものが見やすいこと（悪い景観とは、みたくないものが目立つこと）
- ・したがって、見せたいものをスッキリ見やすく、見せたくないものを目立たせない、これがまず一步（プラスの最大化、マイナスの最小化）
- ・地域にとって、見せたいものは？ 見せたくないものは？
- ・見せたいものは、その印象的な演出が重要！

ここで、象徴的なシーン景観の重要性と移動景観の重要性も。。。

CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■視点と視対象

25

景観の基本的事項

・見る対象のことを「視対象」、人が見る位置を「視点」、その場所を「視点場」という

CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■視点場

26

景観の基本的事項

視点場はいかに長くとどまっていたくなる環境であるかが大切

視対象：山並みと橋梁
視 点：それらを美しく眺めることができる地点はあるが…
視点場として、居心地の良い環境が整備されていない。

CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■視点場づくり（良い事例と残念な例）

27

景観の基本的事項

ピューポイント・パーキングの整備: 大空町/メルヘンの丘
(網走道踏事務所提供)

■視点場づくり（良い事例と残念な例）

28

景観の基本的事項

モニュメントや屋外広告物、電線電柱が視界に入り残念 道の駅の駐車場内（中山峠）

■視点場づくり（良い事例と残念な例）

29

景観の基本的事項

ベンチに座って前を見ると、転落防止柵が視界に入り残念

■視点場づくり（良い事例と残念な例）

景観の基本的事項



優れた眺望と優れた視点場の事例 シニックテッキ（上富良野）

30

■視点と視対象の関係

景観の基本的事項

見込み角～視対象の見えの大きさを表す指標

視対象が「程よい大きさに見える」見込み角の範囲は、約10°～20°と言われている。見込み角は、視対象との距離によって変化する。



海別岳 視距離 27000m 見込み角 3° 羊蹄山 視距離 7000m 見込み角 13° テレビ塔 視距離 170m 見込み角 41°

目安としては、腕を前方に伸ばし手のひらが額と同じ高さの状態で
握り拳で約10°、手を開いて約20°といわれる。



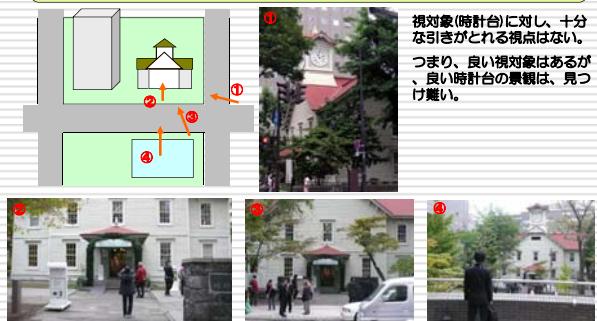
ERI 地域土木研究所 地域景観ユニット <http://www.ceri.go.jp>

31

■視点と視対象の関係

景観の基本的事項

程よい大きさで見ることの出来ない～札幌時計台の例～



視対象(時計台)に対し、十分な引きがとれる視点はない。つまり、良い視対象はあるが、良い時計台の景観は、見つけ難い。

ERI 地域土木研究所 地域景観ユニット <http://www.ceri.go.jp>

32

■視軸線の阻害

日常景観における課題

景観の主対象の前面に、視界を阻害する建物や遊技場の電光掲示板、電柱や道路付属物等が置かれている。



見たいもの（円山）の眺望を阻害するマンショングや電線電柱類 電柱が視軸線を阻害、せめて右側に電柱があれば影響は相対的に小さくなる？

ERI 地域土木研究所 地域景観ユニット <http://www.ceri.go.jp>

33

■輪郭線（ケシュタルト心理学）

景観の基本的事項

輪郭線：ある視覚現象において図となる領域と地となる領域との境界に現れる線のこと。



人工構造物の林立により空の輪郭線（スカイライン）が壊された事例 人工構造物を少なくすることで、スカイラインがスッキリと維持される

ERI 地域土木研究所 地域景観ユニット <http://www.ceri.go.jp>

34

北海道の景観の特徴と課題、その方策など

地域資源を上手く活かして、魅力ある景観に！

ERI 地域土木研究所 地域景観ユニット <http://www.ceri.go.jp>

35

■北海道の景観特性とその活かし方

地域の景観特性を活かした景観形成が重要。
そのため、地域特性の理解が必要である。

本州との比較

- ・雄大、豊かな自然を身近に感じられる
- ・長い都市間距離、北ヨーロッパ的な景観、など

海外との比較

- ・変化に富む景観、明確な四季、アジアにない景観
- ・都市近郊から眺められる山並み、など

国内外に共通のもの

- ・道路や河川背景に世界レベルの魅力的な景観が存在
- ・他に、長い積雪期（冬の暮らしの景観）など

写真：幹線開発部提供

■北海道の景観特性とその活かし方（一例）

道路背景に世界レベルの魅力的な景観が存在！
このような地域資源を活かした景観形成が大切！

ERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■北海道の道路景観の特徴的な課題（代表例）

1.道の周囲には魅力的な景観があるが、
諸外国と比較して道路付属施設が多数存在し、
視軸線の阻害が多い

2.市街地での街路樹の剪定と電線類の占用位置
(不適切な剪定や占用のあり方)

3.道路線形・断面による地形変更と切土のり面
(斜面安定が中心の標準設計と違い構造回復)

...これらの課題への対応が有効

本来の総合設計の思想の必要性

■景観を阻害する道路付属施設

道路からの眺めを阻害する要因となり、残念な景観を作り出している

防護柵で前方の眺望が遮られている
雪崩防護柵が目立っている
矢羽根が、山の景色に掛かっている
重要な観光ルートでの景観阻害

■道路付属施設の景観への影響

道路の景観は、線形や土工、構造物にも左右されるが、
景観阻害要因の1つとして“視軸線阻害”を起こす道路付属施設がある。

写真：左：フォトモンタージュ 右：実際

見たいのを見きりと見せることがポイント。
そのためには、機能低下させず、道路付属施設をいかに減らすかが、道路景観向上の一つの鍵である。

■必要な付属施設が時に、衝突事故要因に・・・

北海道の交通事故は、車両単独で工作物衝突と路外逸脱の致死率が高い
工作物衝突の死者数は、路外逸脱の4倍以上にもなる
電柱と道路付属施設で、死亡単独事故の約4割
単独死亡事故は、衝突エネルギー吸収の少ない電柱、防護柵等が多い

北海道の交通事故：事故類型別発生状況

「平成20年度版 北海道の交通事故統計ポケットブック」より

参考文献：民田博子、米澤英樹、革抜衝突事故に関する分析(第2報)、(独)交通安全環境研究所 平成16年度研究発表会、より引用

■道路付属施設と電柱のセットバック事例

42

- ・欧米などでは、道路付属施設は必要最小限としており、設置する場合にも出来るだけ車道から離して設置している。




歩車道分離による事故対策

照明・電柱セットバックと歩車道分離、広い緑地帯



F型標識への着雪事例



防護柵背面の人工除雪作業

CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

道路付属施設の適正化

■付属施設が維持管理の負担となる場合も

43

- ・施設の日常点検や修理・更新が継続的に要する
- ・冬期、F型標識に着雪した雪や氷の除去を要する（年間30日以上の区間も）
- ・防護柵は、除雪による雪堤を出来易くし、背面の除雪を要したり、視程障害を発生しやすくなること。




F型標識への着雪事例

防護柵背面の人工除雪作業

■景観に大きく影響する過剰な剪定

44

- ・占用物件である電線を守るため？過剰に剪定され無惨な姿の街路樹
- ・剪定による管理コストも増加
- ・電柱の占用位置は道路外かセットバックが有効だが、歩車道間に占用




反対車線も必要以上に剪定されている

電線電柱がセットバックされることで、プラスチック自然景観管理となり、良好な街路樹観が形成されている



電線類は絶縁処理されているが、過剰に対応している事例



街路樹は電線類を巻き込むようにして管理しているため、電線電柱の存在感が小さくなる。
なお、電線管理者は必要に応じて、電線に保護管を取り付ける

CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

ITCS研究会2002アンケート調査結果より

■景観に大きく影響する過剰な剪定

45




電線類は絶縁処理されているが、過剰に対応している事例

街路樹は電線類を巻き込むようにして管理しているため、電線電柱の存在感が小さくなる。
なお、電線管理者は必要に応じて、電線に保護管を取り付ける



電線の保護管の状況



CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■街路樹の維持管理に関する認識

46

街路樹に対する認識

街路樹の過度な剪定について

道路管理者

過度な剪定を避けられることが理解されていない

●「沿道住民の要望であれば仕方がない」49.8%

●「電線などに触れるところ危険なので必要」44.6%

電線の絶縁処理
占用者による鞘管設置

過度な剪定を避けられることが理解されていない

過度な剪定に対する認識(道路管理者:複数回答)

鞘管を設置した例

■街路樹の維持管理に関する認識

47

街路樹に対する認識

街路樹の過度な剪定について

沿道住民

過度な剪定について

●多くの住民は、街路樹の重要性を認識。景観向上97%、歩行の快適性向上90%

●「経費節減のためであれば仕方がない」24.1%

経費節減のために過度な剪定が必要？

自然樹形を活かし、極力剪定を行わない方が「費用が掛からない」「機能を維持」

道路管理者

適切な対応

・道路標識等のアーム延伸
・架空線の鞘管設置
・電柱の嵩上げ

住民

理解と協力

・双方とも誤解？

樹木の過度な剪定を避けられる

過度な剪定に対する認識(地域住民:単一回答)

■電柱の占用位置と道路景観

48 道路付属施設の適正化

●景観改善のポイント

電柱の設置箇所を車道から少しでも遠ざけることを検討する。

●改善策の例

歩道の道路敷地境界端に電柱を設置することにより、歩行者にとってもドライバーにとっても眺めの景観が創出されます。

また、可能な場合は電柱を車の生産に統合することによる（複合線）や沿道の建物から電柱に電線を渡す（杆下配線）により、主要道路から電柱そのものを見除むことも考えられます。

●解説

○道路法及び北海道開発局における道路占用の許可基準では、電柱・電線は道路の敷地外に余地がなくやむを得ない場合は許可を与えることとなっており、基本的に路上から電柱を除むことになっています。

○同じ道路占用でも、車道と歩道の境界に電柱を設置した場合と道路敷地境界に設置した場合に比べて沿道景観に与える影響が大きくなっています。

○道内では、電柱占めの場合は、容易に道路前行駆している事例が多く、結果として景観や交通安全上、望ましくない状況になっています。

■切土のり面の課題

49 道路線形と断面

●北海道における切土のり面の課題

【環境上の課題】

○のり面勾配化・斜面安定から整備がなされているが、地の土や植被に対する防雪施設、土工バランスや付属施設の有無、自然維持費用や費用などをトータルで考えた設計を行うことが望ましい。

○フレーフレームや色々な形によって長期間にわたり樹木が生育しないのり面

【景観上の課題】

○フレーフレームや色々な形によって長期間にわたり樹木が生育しないのり面

【冬季防雪と維持コストの課題】

○コンクリートのり面と雪崩防止壁による堅く冷たい印象的な道路景観

【冬期防雪と維持コストの課題】

○雪崩防止壁についての定期的な需要とにより多大な維持コストが発生

■切土のり面を緩勾配化することが出来ないか？

50 道路線形と断面

●景観改善のポイント

のり面の緩勾配化によって、

- ・コンクリート面や切り立ったのり面の圧迫感がなく、快適な走行感が形成。
- ・周辺に自生種が遷移しやすく、自然植生の回復に有効。
- ・冬期の安全性が高く、雪崩予防施設の設置コスト・雪落しの維持管理コストを削減。
- など、さまざまなメリットがある。

●設計時の工夫によるトータルコストを検討

のり面の緩勾配化は、土工量を増やすためのコストを押しつぶすと考え方もあるが、用地費が安く、土地利用の制約が少ない場合、工夫によって逆にトータルコストを抑えられることが可能である。

○線形の配置のみで土工量を調整するのではなく、断面構成と線形とをセットで工夫することで、土工バランスを図りながら緩勾配化を実現することができる。

○例えば、緩勾配化による用地費の増加と雪崩予防施設の初期コスト・維持管理コストとの比較検討ができる。

○また、地盤深部で岩砕削がある場合は、計画高を上げ単価の高い岩砕削を減らし、緩勾配化により岩砕削を増やすことによって土工量とコストのバランスを検討できる。

●解説

○道路深部で岩砕削がある場合は、計画高を上げ単価の高い岩砕削を減らし、緩勾配化により岩砕削を増やすことによって土工量とコストのバランスを検討できる。

○道路標識は、交通の円滑性を確保するのに欠かせない施設ですが、一般的な設置方式では良好な眺望等を妨げていることがある。

○道路標識の設置位置は、周辺の景観との関係についても十分に検討することが必要である。

○路側式によって、初期コストや維持管理コストを低減できる。

■路側式の標識の提案

51 道路付属施設の適正化

●景観改善のポイント

標識の設置位置を再検証し、機能と景観の両立が可能な位置に変更できないか検討する。

一般的な道路案内標識の設置状況

案内標識を路側式に変更した場合（フォトモンタージュ）

案内標識の「左側の路側」への設置は、「造路構造、区画線及び造路構造に関する命令（SS3-12-17總規則、建設省令第三号）」や「自動車道標識令（昭和26年6月30日令第252号）」にも則っています。

■路側式の案内標識の有利性

52 道路付属施設の適正化

一般的な片持式の案内標識の課題は、

- ①比較的に面積が大きく、景観阻害要因になり易い。
- ②着雪・落雪の対策を要する。
- ③片持式は、路側式より費用を要する。
- ④時に、車両単独の衝突死亡事故の要因になる。

◆被験者走行実験状況と結果

路側式の案内標識は、これらの課題を概ね解消できる。

●解説

○路側式は、注視回数が1回

○路側式（歩道あり）は、注視回数が、2回が多い

○片持式は、回転にバッキがあり、回数が増えるほど、注視時間も長くなっている

○これらを踏まえると、機能性については、路側式が、片持式に比べて優秀であると考える

■路側式案内標識の道内での実例

53 道路付属施設の適正化

●H21年度の道路設計要領の第2集、道路付属施設2-1-78に現地状況より路側式を探用できる旨が記載された。

R276苦小牧市丸山交差点付近の路側式案内標識

54

路外逸脱の被害を抑えるクリアゾーン

海外の郊外部では、クリアゾーンが設置されている。この機能は、車両路外逸脱による障害物への衝突の心配がなく、再び道路に復帰できる。また、視線誘導や連続的視界の確保ができる。



景観と交通安全の機能を両立するクリアーゾーンの事例（米国アイオワ州）

55

■道路景観を検討のための技術支援（開発局と共同）

・道路デザイン指針を受け、その地方版として、北海道の地域特性を踏まえた、「北海道の道路デザインブック（案）」（H19.3）が作成された。
H21年度から道路設計要領の総則の関係技術基準（P1-1-4）の中に正式に追加。



2007年に出された
「北海道の道路デザインブック」

・デザインブックの中で、優先度や効果の高く、コスト・安全にも寄与する景観向上の具体策をまとめ、「道路付属施設の改善チェックリスト」による簡易で確実な道路景観向上策（案）を作成した。
H20年度の事務連絡で、道路付属施設の適正化の参考資料とされた。



道路付属施設の改善チェックリスト

56

北海道らしい道路景観について

北海道らしい道路景観についての印象調査結果を示す。SD法による評価結果。

好き - 嫌い
美しい - 美しくない
快適 - 不快
安心 - 不安心
開放感 - 封閉感
自然的 - 人工的
調和感 - 違和感
北海道らしい - 北海道らしくない
ドライブしてみたい - ドライブしてみたいない
北海道の道筋として - 北海道の道筋として
魅力がある - 魅力がない

CERI 地域土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

57

■人による印象調査での道路景観評価（SD法）

▼H18年度～20年度
対象写真：115枚 調査人数：1000人以上
形容調査：以下一例

▼印象調査のアンケート票（H19・20年度例）



SD法による評価結果

評価項目	北海道らしい	北海道らしくない
美しい	多く	多く
快適	多く	多く
安心	多く	多く
開放感	多く	多く
自然的	多く	多く
調和感	多く	多く

58

■どのような道路景観が北海道らしいのか？

○「北海道らしい」との相関性

→「雄大な」「自然的な」「ゆったりとした」などのスケール感を表す形容表現とより高い相関

→「美しい」との相関も高く、北海道らしい景観は美しい



59

■北海道らしい景観と安心感に影響する要因（H18～20）

・「空の占有面積」

空が広いほど「北海道らしい」と評価

・人工物の「スカイラインへの突出」

突出ありで「北海道らしくない」
突出なしで「北海道らしい」

・「人工物の量」

最も景観に与える影響の大きい要素
人工物が少ないほど「北海道らしい」と評価

※「北海道らしい」と「安心感」の要因は同様の傾向。

・良好な景観と安心感が近い評価となっているのは、「見やすさ」や「分かりやすさ」が景観にも安心感にも共通するからと考える。

H20の事例

空の量	北海道らしい	安心感
空の形	一帯上空がV字	高い
山を含む 林の量	20～50% 30～60% 40～70%	高い
道路線形	直線 直線20%	高い
人工物の スカイラインへの突出	あり	高い
道路以外の 人工物の量	1～2% 2～5% 3～10% 10%～	高い
空の色	青空 青空20% 青空50%以上 蓝色系	高い

■北海道の景観に影響する付属施設の種類 (H2O) 60

「矢羽根」、「道路標識」、「電柱・電線」、「擁壁・護岸・堤・法面」の影響が大きい。

さらに、「スカイラインの突出」があると、より評価を下げる傾向がある。

北海道の景観に影響する付属施設の種類

付属施設	北海道らしい
矢羽根	0.8
道路標識	0.6
電柱・電線	0.4
擁壁・護岸・堤・法面	0.3
照明灯	0.1
防護柵	0.05
その他	0.0

■北海道の道路の魅力に影響を与える要因 (一例) 61

「矢羽根」は、北海道の特徴的な道路景観の一つと言えるが、「北海道らしい景観」と評価されている訳ではない。むしろ北海道らしさを損ねていると言える。

「吹雪時を考慮した視線誘導マニュアル(案)」に沿った適切な運用が求められる。

■これからの景観形成に向けて

- 『守る』
自然環境はもとより、これまで先人たちによってつくれられてきた景観を、守っていく。(良好な景観保全は、環境の保全にもつながる。)
- 『改善する』
景観を阻害するものや、魅力を低下させているものを“みんな”で良いものとなるよう、改善していく
- 『つくる』
今も景観は変わり続けている。先人が残したように今の人気が新しく魅力ある景観を創出していくことが重要。新しい視点場づくりも同じ。
- 『知られない所を紹介する』

そのためには、管理者だけでなく地域力が必要！

CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

■さいごに 63

- ・景観とは、決して付加的なものではなく、満たすべき必要条件
- ・景観の誤解：景観はセンスではなく、知識によって理解できる
- ・三方よしの景観づくりを目指す（来訪者も管理者も地域住民も・・・）

地域資源として豊かさを創出する社会資本でなければ、
地域の真の豊かさには貢献しない

良好な景観形成が、公共空間の真の価値を高め、
人々の幸せや、地域の豊かさを引き出すことの認識が、

良好な景観形成の取組みへの理解に

CERI 寒地土木研究所 地域景観ユニット
<http://www.ceri.go.jp>

ご清聴ありがとうございました

寒地土木研究所
地域景観ユニット ホームページ
<http://scenic.ceri.go.jp>

地域景観ユニットへのお問い合わせは
scenic@ceri.go.jp

講演者へのお問い合わせは
y-matsuda@ceri.go.jp